

# 銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号  
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年10月の国内電気銅建値は下記の通りです。

10月	1日	～	750円/Kg
10月	6日	～	730円/Kg
10月	12日	～	760円/Kg
10月	15日	～	750円/kg
10月	21日	～	770円/kg
10月	27日	～	750円/kg

2020年10月度は平均で752.30円/kgとなり、前月比2.30円/kgの値上がりとなりました。

## 海外銅価の動き

10月のLME銅相場 10/1～10/29 (安値ドル6,409.50～6,953.00 高値ドル)  
10月のNYC銅相場 10/1～10/29 (安値セント286.85～319.45 高値セント)

10月度のLME現物は、10/1 \$6,614.00でスタート。9月に引き続き高いポジションでのスタートとなった。しかしながら、先月のLME在庫は88,250tであり、今月は163,125tでのスタートである。世界最大の銅生産国チリでのストライキや、世界最大の消費国である中国の需要が堅調な動きであること、更に米国の追加経済対策を巡る期待感など、相場を後押しする材料は確かにあるものの、LMEの銅3ヵ月先物が約2年4ヵ月ぶりの高値水準となる\$7,000台を瞬間的とは言え超えたことは、やや違和感がある。コロナによる世界状況及び今後の経済状況に対する不安感が逆に引っ張られる動きにもつながっているのか、何れにしてもここまで値を上げている以上、警戒心を持って今後も見て行く必要がある。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年12月 資料より (単位/千トン)

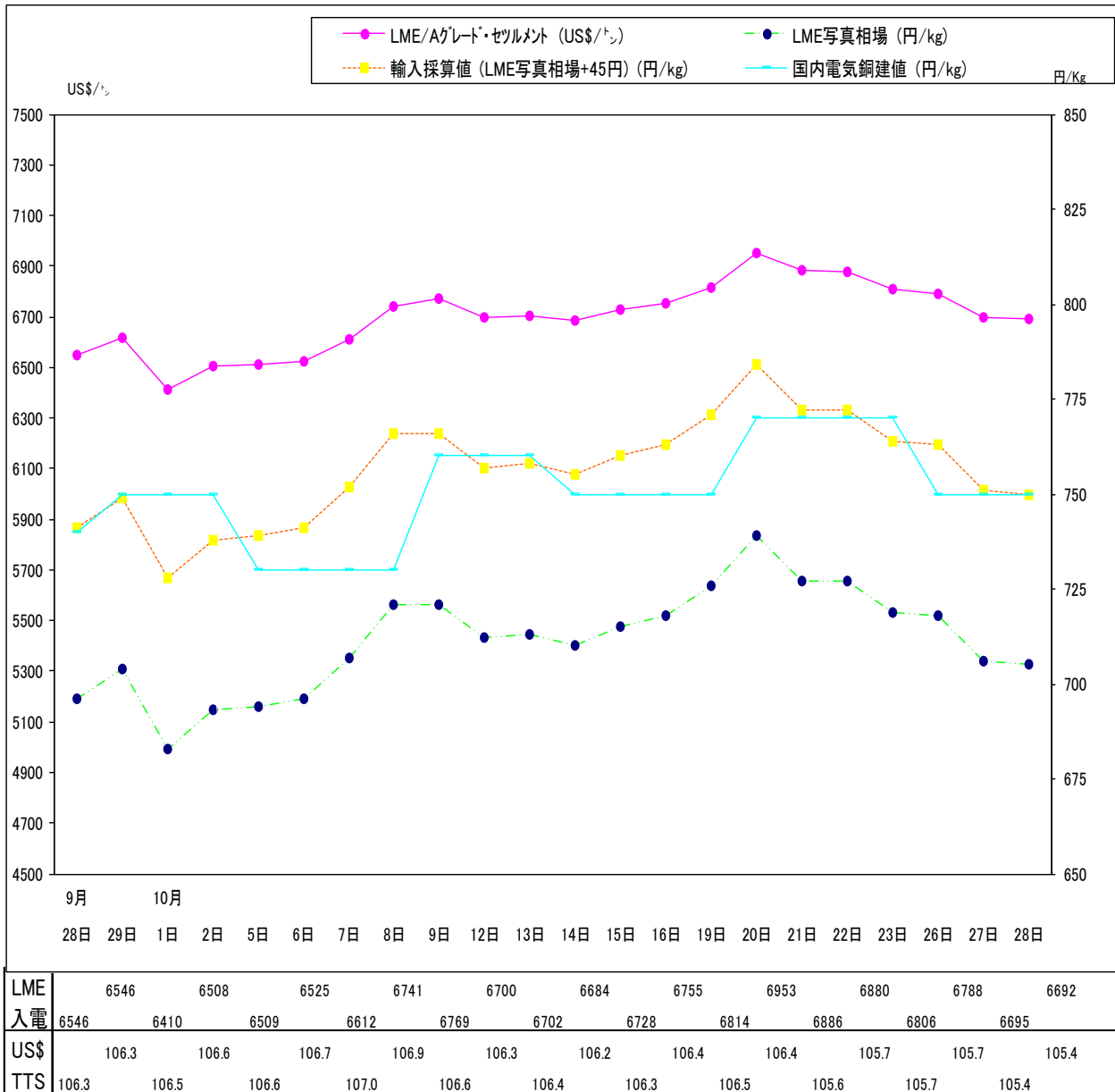
	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想	前年比	2022年 予想	前年比
全世界地金生産	23,531	23,986	+1.9%	24,639	+2.7%	25,095	+1.8%
全世界地金消費	23,621	24,040	+1.8%	24,593	+2.3%	25,196	+2.5%
全世界需給バランス	-90	-54		+46		-101	

## 先行き短期見通

### 国内銅価

10月の国内建値は10月1日750円でスタート。銅価の上げ下げはあるものの、堅調に上がる動きで推移した。結果、6日には一旦730円にダウンするも、12日760円に回復。15日750円、21日には770円まで上昇した。この建値は昨年以來1年半ぶりの高値となった。その後27日に750円改定した。10/29付LME \$6,692.00、同為替(TTS) 1USD=105.40円で日本円換算計算値705円/kgに。20年10月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、750円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



2020年10月は上記の通りで前月比 2.20 円/kg の値下げとなりました。

これはLME亜鉛相場の下落で引き下げられたもの

## ◎ その他の建値

電気鉛	10月	253.40 円/kg	(前月比-	12.10 円/kg)
電気錫(相対)	10月	3,320.00 円/kg	(前月比+	20.00 円/kg)
ニッケル(溶解用)	10月市中価格	1,750.00 円/kg	~ 1,800.00 円/kg	
銀	9月平均	89,940.00 円/kg	(前月比-	3,120.00 円/kg)
	10月30日	79,620.00 円/kg		
金	9月平均	6,579.05 円/g	(前月比-	158.00 円/g)
	10月30日	6,305.00 円/g		

## ◎ 伸銅品関係

### 2020年9月の伸銅品・品種別生産速報(全国ベース)

		8月度実績	9月度速報	前月比	前年9月度実績	前年同月比
銅	板	784	871	11.1%	1,503	-42.0%
	条	12,483	17,581	40.8%	20,601	-14.7%
	管	5,145	6,270	21.9%	8,939	-29.9%
	棒	1,327	1,475	11.2%	2,028	-27.3%
	線	191	237	24.1%	269	-11.9%
黄銅	板	365	358	-1.9%	605	-40.8%
	条	4,088	6,403	56.6%	7,625	-16.0%
	管	266	330	24.1%	526	-37.3%
	棒	8,975	11,713	30.5%	14,053	-16.7%
	線	1,013	1,613	59.2%	2,009	-19.7%
青銅	板	1,462	1,946	33.1%	2,154	-9.7%
	条					
	棒	185	220	18.9%	274	-19.7%
	線					
洋白・その他	板	343	380	10.8%	348	9.2%
	条					
	棒	140	248	77.1%	416	-40.4%
	線					
合計	36,767	49,645	35.0%	61,350	-19.1%	

9月の伸銅品生産速報は、49,645トンで前月比プラス12,878トン、前年同月比マイナス19.1%となり、前年同月比が22ヶ月連続でマイナスとなりました。

## 電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の7月分実績及び8月分推定によれば、7月分実績はコロナの影響が続き7部門すべてが前年同月を割り込み、総計は5万3千484tで前年同月比16.1%減と10ヶ月連続で前年を割り込んだ。とりわけ新年度(4月)以降、二桁減が続き、険しい需要環境で推移している。

一方、8月分推定は通信部門のみがGIGAスクール需要で増加したが、他の6部門は7月と同傾向を示し、総計は5万tを割り込み4万4千600tで同15.9%減と11ヶ月連続で減少する見通し。どの部門もコロナ禍で厳しい情勢が続く。

7月分の部門別出荷をみると、通信はGIGAスクール需要でLANケーブルが動くが、他のケーブル類が伸び悩み同9.6%減少。電力は、洋上風力発電向けは動いているが、張替え需要は谷間に差し掛かり2.7%の減少。電気機械は、コロナ禍に米中貿易摩擦の影響で同14.3%減少し、23ヶ月連続で前年割れが続いている。自動車もコロナ禍による自動車メーカーの減産や販売不振で同24.2%減と大幅に低下し、4ヶ月連続で減少。建設電販は市販・電設両ルートともに伸び悩み同15.5%減少。再開発案件も控えているが、人不足もあり7ヶ月連続での下降。その他内需も、景気低迷で民間企業の設備投資が鈍化し、同24.5%減と4ヶ月連続で前年を割り込んだ。輸出もコロナ禍が影響し、同13.0%減となり、6ヶ月連続で前年を下回った。

### 2020年7月分(実績)・2020年8月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	7月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	8月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	7月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	910	8.3	▼ 9.6	800	(▼12.1)	11.9	1,457	15.7	▼ 9.3
電力	(1,795) 4,262	(▼6.4) ▼ 9.1	(53.9) ▼ 2.7	(1,600) 3,500	(▼10.9) ▼ 17.9	(▼5.7) ▼ 12.3	(1,046) 4,849	(▼11.2) ▼ 18.4	(30.9) ▼ 8.0
電気機械	(273) 10,689	(▼3.9) 11.7	(▼28.2) ▼ 14.3	8,700	▼ 18.6	▼ 10.6	(272) 12,248	(0.7) 4.5	(▼22.1) ▼ 26.7
自動車	(172) 6,329	(45.8) 23.2	(6.2) ▼ 24.2	5,400	▼ 14.7	▼ 15.7	(626) 31,492	(53.4) 31.2	(15.9) ▼ 19.0
建設・電販	(71) 26,827	(82.1) 3.7	(97.2) ▼ 15.5	22,700	▼ 15.4	▼ 15.2	(63) 29,455	(23.5) 4.6	(133.3) ▼ 17.9
その他内需	(48) 3,537	(▼7.7) ▼ 4.7	(▼20.0) ▼ 24.5	(500) 2,800	(▼11.3) ▼ 20.8	(7.3) ▼ 28.1	(55) 6,084	(▼9.8) ▼ 6.8	(▼25.7) ▼ 30.2
内需計	(2,359) 52,554	(▼2.1) 5.5	(30.8) ▼ 16.1	(2,100) 43,900	(▼11.0) ▼ 16.5	(▼2.9) ▼ 14.7	(2,062) 85,585	(4.7) 10.3	(15.2) ▼ 20.1
輸出	(1,123) 930	(160.6) ▼ 14.8	(45.5) ▼ 13.0	(900) 700	(▼19.9) ▼ 24.7	(254.3) ▼ 54.6	(587) 3,828	(186.3) 12.4	(39.1) ▼ 21.2
合計	(3,482) 53,484	(22.6) 5.0	(35.2) ▼ 16.1	(3,000) 44,600	(▼13.8) ▼ 16.6	(24.1) ▼ 15.9	(2,649) 89,413	(21.8) 10.4	(19.8) ▼ 20.1
心線販売	(553) 21,500	(19.2) 7.1	(▼23.1) ▼ 34.9	(300) 16,600	(▼45.8) ▼ 22.8	(▼25.0) ▼ 31.8	(120) 13,977	(16.5) 12.0	(▼32.6) ▼ 38.8

(注) ( )内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。  
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

### 2020年7月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,204	▼ 7.1	▼ 11.5	1,901	▼ 10.5	▼ 44.8	
巻線	9,688	18.7	▼ 18.4	8,875	14.3	▼ 29.7	
機器用電線	2,913	▼ 1.1	▼ 20.2	8,829	▼ 1.0	▼ 13.2	
通信用電線・ケーブル	1,365	8.2	▼ 11.7	3,141	12.2	▼ 8.5	
電力用電線・ケーブル	20,738	▼ 0.4	▼ 15.3	20,460	▼ 4.3	▼ 18.5	
被覆線	10,387	▼ 0.7	▼ 12.9	14,076	0.8	▼ 16.8	
輸送用電線	5,189	35.6	▼ 21.7	32,132	33.5	▼ 20.2	
銅電線計	53,484	5.0	▼ 16.1	89,413	10.4	▼ 20.1	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	65	0.0	▼ 34.3	232	▼ 5.3	▼ 24.7
	電力用電線・ケーブル、被覆線	2,787	7.3	▼ 29.8	3,134	7.2	▼ 30.5
計	2,856	7.1	▼ 29.9	3,396	6.6	▼ 29.9	
アルミ電線計	3,482	22.6	35.2	2,649	21.8	19.8	
光製品	3,469,774	14.0	▼ 0.5	23,533	▼ 2.6	6.4	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,385	10.0	4.9	

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、中国休場によってアジア時間には小幅な値動きとなったが、米景気対策合意への不透明感が高まったことにより米国時間に価格が急落してスタート。第2週、中国国慶節で商い薄い中、米大統領がコロナに感染とのニュースに加えて非農業部門雇用者数が予想を大きく下回ったことからドル安となりアルミ価格は回復。米大統領の病状改善報道などから市場はリスクオンとなり、対ユーロでドルが後退し、米株も堅調推移したことでアルミは一時\$1,780台まで上昇。第3週、中国国慶節明け、9月サービス部門PMIが好調だったためアルミは上伸して取引開始。米製薬大手イーライリリーが抗体治療薬の臨床試験を停止したと報じられ、加えて米大統領選前の動きは依然として市場の重しとなるためアルミは上値重く推移。欧州主要国で感染第2波の拡大から活動制限が導入され、英EU通商交渉は依然不透明感が強いいため、ユーロ安から上値が重い。第4週、中国Q3GDP成長率が前年比4.9%増、9月鉱工業生産や不動産投資も増加したことが下値を支えた。ただし、LME在庫が引き続き6万トン超の純増が見られ終盤は下落。最終週、米追加経済策協議も英EU通商協議も双方の隔たりが埋まっていない状況が続き狭いレンジで推移。英国総合PMI、ユーロ圏総合PMIが前月から低下したことでユーロ安が進行しアルミも小幅に下落。欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大と米大統領選への警戒感から上値重く推移。米消費者信頼感指数の予想外の低下を受けた株安から下押し圧力が強く一時、\$1,812まで下落。コロナ再感染状況や米大統領選の情勢を見ながら、当面は\$1,820前後の狭いレンジでの推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2020年 9~10月積 1,922.00~1,927.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020年 9~10月積 215.30~215.90 円/kg
- ・NSP 2020年 8月 232.40 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2020年 10月~12月 240.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'20年8月	'20年9月	'19年9月
月生産	*2,340.0	2,274.0	2,299.0
平均日産	*75.5	75.8	76.6

(\*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

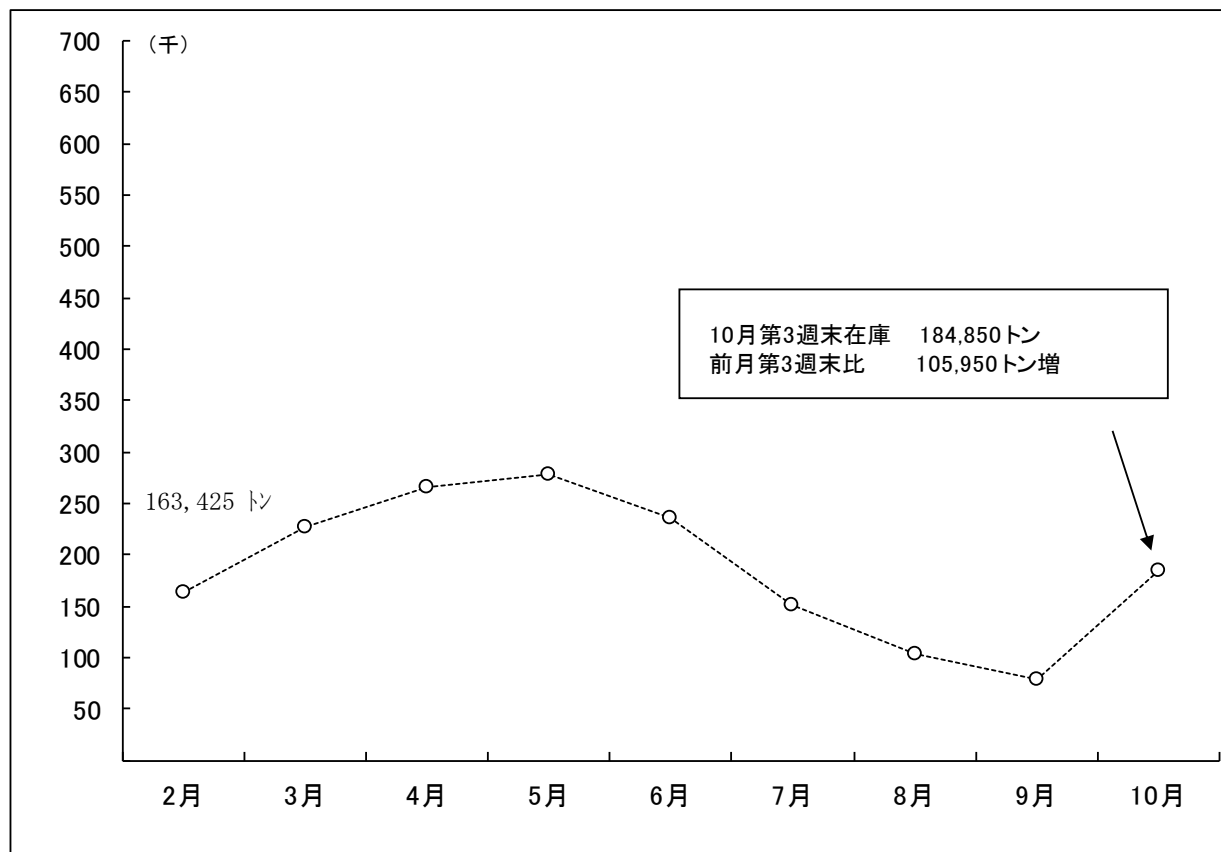
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2020年6月	2020年7月	増減	2019年7月	増減
横浜	164,300	168,200	+3,900	153,800	+14,400
名古屋	168,000	157,700	-10,300	140,000	+17,700
大阪	15,000	15,500	+500	15,000	+500
合計	347,300	341,400	-5,900	308,800	+32,600

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年10月16日現在 78,179 S T 前月比 3,120 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年7月末 113,188 トン 前月比 3,918 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・20年8月確報 36,767 トン  
 ・20年9月速報 49,645 トン 前月比 135.1 %

◎ 電線出荷実績

・20年9月速報 53,000 トン 前月比 118.8 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 9月	板 類	91,586 トン	
	押出類	58,137 トン	
		<hr/>	
		149,723 トン	前月比 126.5 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。